

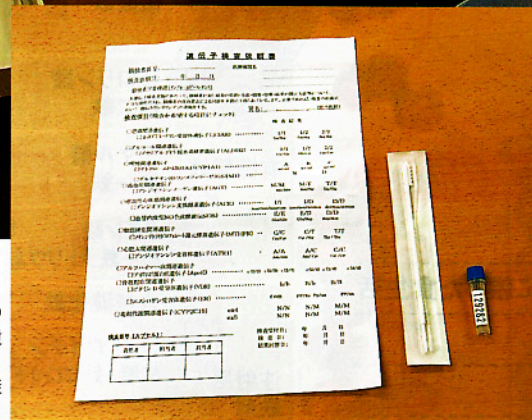
病医院へ行って
健康になろう

今や病医院は、病気を治療するだけでなく、その予防を行う役割も担っている。このコーナーでは、病気の予防や健康管理に力を入れている病医院を紹介する。



Rheology (レオロジー) 装置。血液粘度を測定する新兵器。原因不明の血栓症を起こす血液の状態も、この検査でわかる

遺伝子ドックの検査は口腔内の粘膜を綿棒で擦り取るだけ。遺伝子の構造から病気発症のリスク傾向がわかれば早めに回避する手を打てる



発症リスクを診断し 各種ドックをプランニング 北青山Dクリニック

がんや心臓病、脳卒中をはじめ、重大な病気の発症を予防するために、遺伝子診断ドックによって、受診者の発症リスクを客観的に評価する北青山Dクリニック。それに基づいて、必要な検査を効率よく組み合わせるといふオーダーメイドの人間ドックを実施している。

超音波（エコー）検査装置。腹部エコーでは肝臓や膵臓、腎臓など消化器の病変がわかる。頸動脈エコーは脳や心臓の動脈硬化性の変化、乳腺エコーは乳がんの早期発見に有用だ



「高精度・高効率で、疾患を見逃さない人間ドックをめざす」と語る阿保義久院長



受診する人が理解しやすく、安心してもらうために、院内の随所に検査や治療内容についてのわかりやすい説明を掲示している

同クリニックの 抗加齢医療

■老化度測定 (老化度ドック)

- ・血中ホルモン検査
- ・体内年齢検査 (8-OHdG)
- ・血圧脈波検査
- ・頸動脈超音波検査
- ・呼吸機能検査
- ・骨密度検査
- ・血液粘液検査

■キレーション療法

キレート剤を用いて体内から有害なミネラルや老廃物を取り除く方法で、動脈硬化症や心疾患、脳梗塞の予防が期待される。

■サプリメント療法

医学的に抗加齢効果が期待されているホルモン製剤や抗酸化剤、免疫力増強剤などを用いる療法。

■HGH療法

心身の健康を維持するために重要なホルモンであるヒト成長ホルモンを、外から補充する療法。

受診する人が理解しやすく、安心してもらうために、院内の随所に検査や治療内容についてのわかりやすい説明を掲示している

「年に1度健診を受けているから大丈夫。日帰りより1泊、1泊より2泊の人間ドックのほうが精度が上がって安心……。多くの人はそう思っているでしょう。でも、検査後まもなく進行がんが見つかった、心筋梗塞や脳卒中など命にかかわる疾患の早期発見ができなかった、などというケースが最近問題になっているのです」と語るのは、北青山Dクリニックの阿保義久院長。このような受診者の期待と検査精度とのズレは、スクリーニングとしての検査の限界だという。

同クリニックでは「総合ドック」、「脳ドック」、「心血管ドック」、「動脈硬化ドック」、「消化管ドック」、「CT/MRIスクリーニングドック」など、がん・心臓病・脳卒中という、日本の三大死因の早期発見に照準を絞った人間ドック

これららの検査を有効に機能させ、

「年に1度健診を受けているから大丈夫。日帰りより1泊、1泊より2泊の人間ドックのほうが精度が上がって安心……。多くの人はそう思っているでしょう。でも、検査後まもなく進行がんが見つかった、心筋梗塞や脳卒中など命にかかわる疾患の早期発見ができなかった、などというケースが最近問題になっているのです」と語るのは、北青山Dクリニックの阿保義久院長。このような受診者の期待と検査精度とのズレは、スクリーニングとしての検査の限界だという。

さらに、最近では20代の若年発症が心配される子宮がん(特に子宮頸がん)や卵巣がんの増加に対応する、ブライダルドックを含めた「婦人科ドック」のほかに、増加が心配される乳がんの早期発見を目的にマンモグラフィを備えた「乳腺ドック」を新設し、女性特有の疾患に関する検査も充実させている。

また、血液粘度(サラサラ度。固まりやすさ)を測定する機器Rheology(レオロジー)を国内で初めて導入した。血栓症は、脳や心臓に起きると重大な事態をもたらすが、高血圧や高コレステロール血症、高血糖症、喫煙、肥満などのリスク因子がなく突然発症する原因不明の血栓症も、この機器で測定する血液粘度によって説明できることがわかり、血栓症発症の予防に役立つ。



血圧脈波検査 (ABI/PWV検査)。動脈硬化を調べる検査には、動脈の硬さを調べるPWV検査と、血管の詰まり具合を調べるABI検査がある



マンモグラフィ(乳房X線撮影装置)を導入。乳がんを早期に見出すには、2年に1度程度マンモグラフィによる検査を受けることが望ましいという

北青山Dクリニック

クリニックデータ



東京都渋谷区神宮前3-7-10
アケラビルB1F
TEL. 03-5411-3555
FAX. 03-5411-5666
<http://www.dsurgery.com>

診察時間

月～金 9:00～20:00

土 9:00～18:00

日曜日の診療は要相談

人間ドック・健康診断は予約制



アクセス

東京メトロ銀座線外苑前駅から徒歩5分、同千代田線・銀座線・半蔵門線表参道駅から徒歩5分

「加齢」は、そのこと自体があらゆる疾患の大きなリスク因子である。した

予防医学としての抗加齢医療を実践

維持プログラムが提示される。生活改善が必要かなど、一人ひとりに適合した検査の組み合わせや健康維持プログラムが提示される。

疾患を見逃さないようにするには、まず、受診者の家族歴・生活歴の分析をはじめ、病気の発症リスクを科学的・客観的に評価することが必要だ。その1つとして同クリニックでは、一部のがん、肥満、高血圧、動脈硬化、虚血性心疾患などを中心に遺伝子によるリスク検査を行う「遺伝子診断ドック」を設けている。遺伝子は死ぬまで変わらないので、この検査は一度受けるだけでよい。その結果から、受診者が、どのような検査を、どのくらいの頻度で受けたらよいか、どのような生活改善が必要かなど、一人ひとりに適合した検査の組み合わせや健康維持プログラムが提示される。

その結果と患者の希望に応じて、キレート剤を用いるキレーション療法やサプリメント療法、HGH(ヒト成長ホルモン)補充療法などの抗加齢医療を提供している。

老化度は、血中ホルモン量、血管の硬さ、血管壁の厚さ、呼吸機能、骨密度、活性酸素による細胞障害の度合いなどから客観的に評価できる。そのため同クリニックでは、これらを測定・検査する「老化度ドック」を設け、その結果と患者の希望に応じて、キレート剤を用いるキレーション療法やサプリメント療法、HGH(ヒト成長ホルモン)補充療法などの抗加齢医療を提

がって暦年齢ではなく、体内年齢を若く保てれば、それだけ疾患が発生しにくいということである。加齢には遺伝子、環境、ホルモン、活性酸素など種々の要因が複雑に絡み合っている。これらの中で科学的・医学的に対応が可能なものに対して積極的に働きかけ、心身の若さを保ちしようというのが抗加齢(アンチエイジング)医療である。